

2026年度

# 入学試験問題

## 算 数

### 注意

- ・指示があるまで開いてはいけません。
- ・答えは解答用紙に書きなさい。
- ・計算ページは自由に使ってかまいません。
- ・試験中は横を向かないこと。早く終わっても周囲を見まわしたりしないこと。そのような場合には注意されることがあります。
- ・解答用紙上の消しゴムの消しカスは、しっかりはらっておきなさい。

にあてはまる数を入れなさい。円周率を使う場合は3.14とします。

1  $35 \div \frac{5}{7} - \{33 - (8 - 2) \times 3\} \div 5 =$

2  $\left\{ \left( \text{□} + \frac{2}{3} \right) \times 0.8 - \left( 2.75 - \frac{5}{6} \right) \right\} \div \frac{1}{12} = 17$

3 東京ドームの面積は4.7haです。25000分の1の地図で1辺の長さが10cmの正方形の土地の面積は、上から2桁の<sup>けた</sup>がい数で表すと東京ドーム  個分になります。

4 760円の品物を1000個仕入れ、定価を1000円にしました。最初は定価で売りましたが、途中から定価の2割引で売ったところ全部売れ、仕入れ値全体の25%の利益が出ました。2割引で売った品物は  個です。

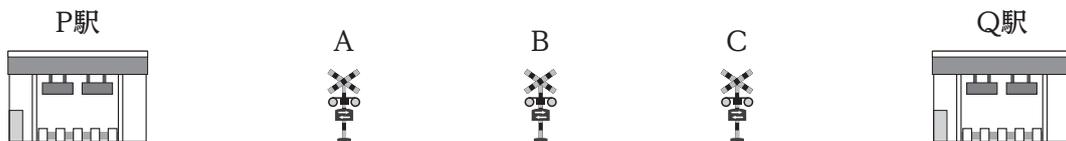
5 水そうに水を入れます。バケツ A で水を入れると25杯目の<sup>はい</sup>途中で<sup>と</sup>いっぱいになり、バケツに7L残ります。バケツ B で水を入れると31杯目の途中でいっぱいになりバケツに5L残ります。バケツ A とバケツ B の容積の差は2Lです。水そうの容積は  Lです。

## 計算ページ

6 ある観光地での自転車のレンタル料は午前のみ利用で1500円、午後のみ利用で1800円、終日（1日）の利用で3000円になります。ある日の利用者数を調べたところ、午前は38人、午後は47人で、この日のレンタル料の合計は136800円でした。午前のみ利用したのは  人です。

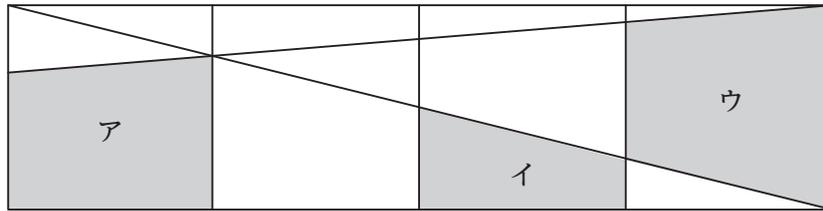
7 ある学校では1人の生徒が複数の部活動に所属することができ、102人の生徒がバスケットボール部、吹奏<sup>すい</sup>楽部、パソコン部に所属しています。バスケットボール部の部員数は53人で、吹奏楽部にも所属している生徒が12人、パソコン部にも所属している生徒が6人います。吹奏楽部では部員の3割の生徒がバスケットボール部にも所属しています。パソコン部の部員数は35人で、バスケットボール部と吹奏楽部にも所属している人が2人います。吹奏楽部とパソコン部の2つだけに所属している生徒は  人です。

8 P 駅から Q 駅まで走る普通電車と急行電車があります。2つの電車の速さの比は3：4で、P 駅を同時に出発しました。P 駅から Q 駅の間には A、B、C という3つの踏切<sup>ふみ</sup>があります。P 駅から5.4 km <sup>はな</sup>離れている A の踏切を先に急行電車が通過し、その1分15秒後に普通電車が通過しました。また急行電車が C の踏切を通過すると同時に普通電車は B の踏切を通過しました。急行電車が C の踏切を通過してから2分30秒後に Q 駅に到着したのと同時に、普通電車は C の踏切を通過しました。P 駅と Q 駅間の距離<sup>きょり</sup>は  km です。



## 計算ページ

- 9 次の図は正方形を4個並べたものです。2本の直線を図のように引いたとき、ア・イ・ウの部分の面積の比は  :  :  です。



- 10 図1のように高さが等しい円柱状の空の容器A・Bがあります。この容器の両方または片方から水を注いでいき、2つの容器を満水にしました。図2は容器A・Bの水面の高さの差をグラフで表したものです。ただし、1秒あたりに注ぐ水の量はどちらも同じで一定であるとします。このとき、容器A・Bの底面積の比は  :  です。

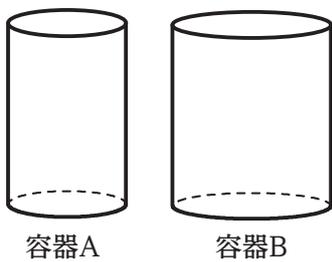


図1

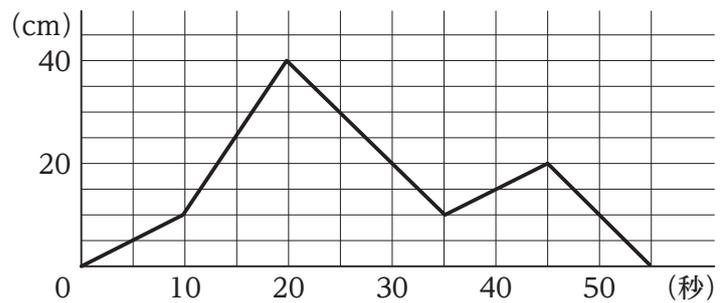


図2

## 計算ページ

- 11 正方形の折り紙があります。この折り紙には辺 AB, CD をそれぞれ二等分する点を結んだ線 EF と対角線 AC が引いてあります。頂点 D を線 EF の上に重なるように折り (図1), 続けて対角線 AC と辺 BC が重なるように折りました (図2)。最後に頂点 C が頂点 G に重なるように折りました (図3)。色のついた部分の角の大きさは  度です。

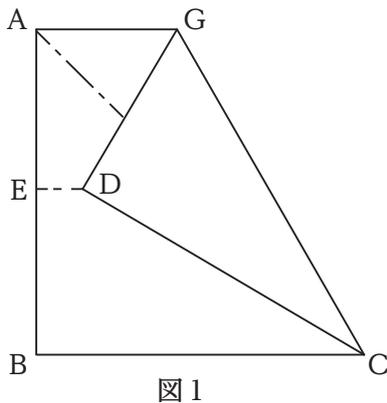
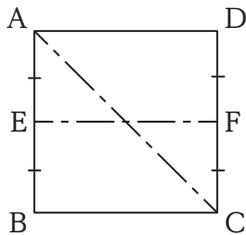


図1

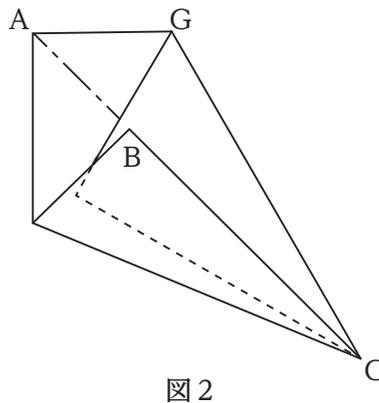


図2

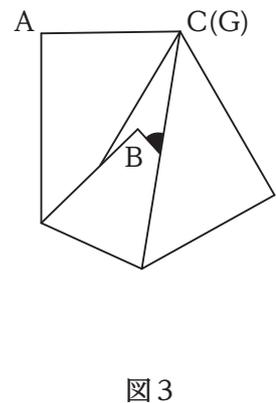
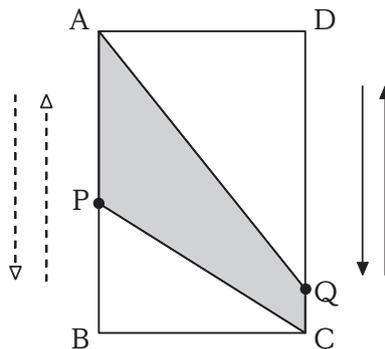


図3

- 12 図のように、たて6cm, 横4cm の長方形 ABCD があります。点 P は点 B を出発し、辺 AB 上を毎秒1cm の速さで往復します。点 Q は点 P と同時に点 D を出発し、辺 CD 上を毎秒2cm の速さで往復します。



- (1) 四角形 APCQ が最初に平行四辺形になるのは、点 P, 点 Q が動き始めてから  秒後で、2度目は  秒後、3度目は  秒後に平行四辺形になります。(ただし、四角形 APCQ が長方形になる場合は考えないものとします)
- (2) 四角形 APCQ の面積は、点 P, 点 Q が動き始めてから  秒後に初めて長方形 ABCD の面積の  $\frac{1}{2}$  になり、その後は  秒ごとに  $\frac{1}{2}$  になります。(四角形 APCQ は時間によっては三角形になることもあります。)

## 計算ページ

13 40人のクラスで、1問10点の問題が10問出題される100点満点のテストを行いました。

このテストでは30点以下の生徒を不合格、40点以上の生徒を合格にしました。テストの得点と人数は下の表のとおりです。

|    | 不合格 |    |    |    | 合格 |    |    |    |    |    |     |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 得点 | 0   | 10 | 20 | 30 | 40 | 50 | 60 | 70 | 80 | 90 | 100 |
| 人数 | 0   | ア  | イ  | 2  | ウ  | エ  | オ  | 7  | カ  | キ  | 2   |

このとき、次の①～③のことがわかっています。

- ①テストの平均点は56点、合格者の平均点は65点、不合格者の平均点は20点である。
- ②全体の中央値は55点、合格者の中央値は65点である。
- ③最頻値<sup>さいひんち</sup>は70点である。

(1) 表のア、イに入る人数は  人、 人です。

(2) 表のカ、キに入る人数は  人、 人です。

## 計算ページ